

工作×ダンスパフォーマンス ワークショップ

柿が見た景色

アーティスト

大西健太郎

2022年11月27日(日)

11:00-15:00 (受付開始 10:30)

会場：なら歴史芸術文化村

芸術文化体験棟3F 交流ラウンジ

参加無料、事前申込制 [定員あり (20名)]

対象：子どもから大人まで。

(※年齢制限なし) 小学生以下は、保護者と一緒にご参加ください。

11時	ウォーミングアップ ダンスの素材を作る・踊ってみる
12時	— お昼休み —
13時	「柿眼鏡」を作る
13時45分	柿の目線になる準備運動
14時15分	ダンスを作り外へ出かける
15時	作ったダンスを持ち寄り発表 終了

〈ワークショップの流れ〉

十月から奈良で滞在をスタートした大西は、リサーチのなかで天理市萱生町が発祥の「刀根早生柿」と出会いました。今回のワークショップでは、柿の皮をつなげて「柿眼鏡」をつくりまします。この眼鏡は、柿と自分をつなぐ装置になります。柿になりきって、山のすそや台所のテーブルなど柿のいる場所に自分が立ち、そこから見える景色をもとに、踊りをつくりましょう！



ワークショップ申込みフォーム

ワークショップへの参加を希望される方は、QRコードの申込みフォームより必要事項を記入の上、お申込みください。上限に達し次第、予約を締め切りいたします。
<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/item/2046.htm#itemid2046>



なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業 主催・なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会 (なら歴史芸術文化村・天理大学・天理市)



©吉良 幸恵



©小野 悠介

プロフィール

大西健太郎 OHNISHI Kentaro

1985年生まれ。ダンサー。その場所・ひと・習慣の魅力を発掘し、それらと出会う過程を通じて「ころがおどる」風景を舞台としてパフォーマンス作品を制作する。住まう地域、国、言語、世代、障がいの有無など、異なる背景を持つ「他者」との協働を軸として制作過程を含めた参加型のパフォーマンスプロジェクトを行う。



ワークショップや滞在中の活動の様子を専用ウェブページで公開中

<https://sites.google.com/view/narabunkamura-air2022>

11月23日(水・祝)ー12月11日(日) 11:00-15:00

Art-Space TARNにて公開制作を行います。お気軽にお越しください。
*リサーチのため不在の場合がございますので、予めご了承ください。



アクセス

なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3F 交流ラウンジ

JR・近鉄天理駅より直通バス・直通デマンドシャトル運行(有料)、奈良交通バス「勾田」下車徒歩15分、無料駐車場あり

※今後の新型コロナウイルス感染症やその他の状況によっては、イベントを中止、または内容を変更する場合があります。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防対策を徹底して開催します。

滞在アーティスト誘致交流事業

公募により選出されたアーティストが、奈良県の豊かな歴史・芸術・文化の魅力を吸収し、新しい視点や切り口で作品制作を行います。文化村の芸術文化体験棟スタジオ303を拠点に制作を行うことで、様々な人々との交流が期待され、その刺激も作品へと繋がります。アーティストと鑑賞者が交流し、そのプロセスに触れることで理解を深めます。

前期 2022年8月2日(火)ー9月26日(月) 中尾美園

後期 2022年10月1日(土)ー12月18日(日) 大西健太郎

滞在アーティスト誘致交流事業は、天理アーティスト・イン・レジデンスモデル事業を継承しています。奈良県天理市では、「芸術文化に出会える街」として平成30年度よりアーティストを誘致し、市民がアートに触れる機会を創出する取り組みを展開しています。

なら歴史芸術文化村

所在地 〒632-0032 奈良県天理市杣之内町437-3

開館時間 9:00-17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日が休館)

交流にぎわい棟 9:00-18:00(月曜営業・レストランは20:00まで)

<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>

問い合わせ

〒632-0032 奈良県天理市杣之内町437-3

なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会事務局

Tel 0743-86-4420(代表)

主催：なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会

(なら歴史芸術文化村・天理大学・天理市)

協力：一般社団法人CHISOU

デザイン：佐藤豊

予告

ダンスパフォーマンス公演

手レよむダンス 「霧、こんとんとたって」

踊り 大西健太郎

2022年12月10日(土)、12月11日(日)

[1部] なら歴史芸術文化村
芸術文化体験棟3F 交流ラウンジ
開演 10:00(受付開始 9:30)

[2部] 天理本通り商店街 周辺
開演 15:00

- ・入場無料、事前申込制[1部のみ定員あり(30名)]
- ・1部、2部ともに上演時間は40分程度
- ・1部、2部の内容は異なります
- ・2部の会場詳細は後日発表いたします



© Ayaka Umeda

ダンサーの大西健太郎によるライブパフォーマンス「手レよむダンス」の新作公演を、なら歴史芸術文化村と天理本通り商店街の路上の2会場で開催します。「手レよむダンス」は、大西が手話をもとにした詩の朗読表現「サインポエム」から着想を得て、手の表情や動きを介し、言葉の領域ではアクセスできない世界とつながり、もっと遠い時空間と交信をしようと試みる行為です。

大西は約2カ月半にわたる文化村での滞在制作のなかで、奈良の「時間」「風景」「食」「作業」をモチーフにして、さまざまな場所や人々を訪ね、踊りの譜面となる「手レ譜(てれふ)」を墨で吉野の手漉き和紙に描き続けてきました。これらの「手レ譜」に描かれた線や形が手でなぞられ、踊りへと展開されてゆくパフォーマンスを目にするとき、言葉としての意味が生じる手前の、分ちがたく渾沌とした景色のなかに、私たちは何を感じとるのでしょ